**訪問看護の心得**

「訪問看護の心得」は、訪問前から終了までの間に心構えとして身につける内容です。

各場面での内容を確認して訪問時に活用しましょう。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 行動内容 |
| 訪問前 | □　目的に応じて適切な服装をすることができる（靴下の穴や汚れ、靴の汚れにも注意） |
| * 看護内容に合わせ、必要な物品の準備・補充を行うことができる
 |
| * 防護用具（マスク・手袋等）を準備し、感染予防に努めることができる
 |
| * 事前に駐車場確認と交通状況を考慮し、訪問予定時間通りに訪問することが

できる。やむを得ず遅れる場合は、決められた対応ができる |
| メモ |
| 移動 | * 安全を確認し、交通ルールを守る
 |
| * 盗難に注意し、車内に記録物等を置かない
 |
|  |
| 訪問時 | □　挨拶し、訪問目的をわかりやすく伝えることができる |
| * 訪問前後、手洗いを行う

・利用者宅のタオルは使用せず、持参したものを使用する・洗面所を使用できない場合は、簡易消毒で手洗いを行う |
| * 自宅の物品は許可を得てから使用し、元通りに片付けることができる
 |
| * 基本的マナーを守り、利用者や家族に不快を与えない態度で行動することができる

（言葉遣い、目線の高さ、訪問バッグを置く位置など） |
| * 専門用語を使わず、利用者や家族がわかる言葉で説明することができる
 |
| * 必要に応じて家族に協力を求めることができる
 |
| * 訪問予定時間内にケアを終了することができる
 |
| * 退出時次回の訪問予定を伝え、変更が必要な場合は調整することができる
 |
| メモ |
| 訪問後 | □ 利用者・家族との約束や契約、依頼されたことについて誠実に対応することができる |
| * 管理者やスタッフに報告、連絡、相談し、記録する習慣を身につけることができる
 |
| * 必要に応じて介護支援専門員等、事業所以外の関係者に報告できる
 |
| * 使用した看護用品の後片付け、車の整備などができる
 |